令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年4月25日

団体所在地 東京都千代田区神田神保町 2-20 SP 神保町ビル第 2 ビル 4 階 団体の名称 株式会社 小学館アカデミー 職・氏名 代表取締役 喜田 力 (施設名 三次市十日市保育所)

1 活動報告

【4月~6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 草花あそび
- ・芝滑り
- カブトムシの飼育

【7月~9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 菜園活動
- 砂・泥あそび
- 水あそび

【10月~12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・自然物を使用した制作物
- ・大豆の収穫(味噌づくり)

【1月~3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・コンポスト作り
- ・ 雪あそび
- ・米作り(巨大巻き寿司作り)

活動報告 (詳細)

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。 エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。 写真は基本1枚です。

【4月~6月】

(写真)



(エピソード記述)

【カブトムシの飼育】

地域の方から幼虫をいただき、年中児が1年を通して 飼育した。子どもに見えやすいように3匹は薄い飼育 用ケースで、幼虫→さなぎ→成虫になる過程を一緒に 観察し、他の幼虫は大きなケースで育てた。その中で、 途中で亡くなってしまったり、霧吹きで水をやりすぎ てしまい弱ってしまったりしたが、その都度子どもた ちと話し合いどうするか考えていった。夏の終わりに は、山へ帰すか、そのまま育てるかを話し合い、「カブ トムシにまかせよう!」との思いから一晩外に置いて みました。翌朝になっても逃げていなかったので、そ のまま育てる事にした子どもたち。見事に卵が還り一 緒に進級し今年度も飼育を継続中。生き物を飼育する 中で世話をする大切さや、生き物への思いやり、命の 生態系を知ることができた。

【7月~9月】

(写真)



(エピソード記述)

【菜園活動】

1年を通して各学年、菜園活動をしている。年長児は「米と味噌を作りたい!」と取り組んできたが、春には枝豆を植え、夏にはたくさんの水やりが必要なこと、軸を立てないと野菜が上に伸びないことなどを知る。どうやったら味噌ができるかを調べ、枝豆が大豆になることを知り、その過程を観察し収穫する。「枝豆が枯れている」と心配していた子どもたちだが、大豆ができる過程を実体験として知ることができた。実際に味噌づくりも体験できないかと考え、炊飯器でできる味噌づくりに挑戦し、参観日で調理した。自分たちで野菜を作り、調理し、食べてみる。という経験ができた。

【10月~12月】

(写真)



(エピソード記述)

【自然物を使用した制作物】

遠足や散歩で見つけた落ち葉をどうにかきれいに 保てないか…と調べ、ボンドを溶かした水につけて 乾かすと、乾いた後も壊れにくいことが分かり試し てみることにした。乾いた葉を見て「硬くなっと る。」「丈夫になった!」と気付き、家に帰って実際 にやってみる子もいた。その後、この落ち葉や松ぼ っくりを使いオーナメント作りをする。できた作品 で部屋や廊下を飾り、秋の余韻や思い出を楽しん だ。

・十分な材料がそろうよう、散歩にも積極的に出かけ秋探しを楽しんだ。

【1月~3月】

(写真)



(エピソード記述)

【米作り(巨大巻き寿司づくり)】

年長児が春から取り組んできた米作り。残念ながら 枯れてしまったが、米作りにはたくさんの水が必要 なことや、収穫した稲穂から取り出した米を見て、 「あんなにたくさんの稲穂からこれだけしか収穫

できないのか」と、農家の方の苦労や大変さ、米の一粒一粒の大切さを知ることができた。その米体験を形にしようと、巨大巻き寿司作りに挑戦する。調理員とどのようにしたら良いか検討し、机を並べ、自分たちで具材をトッピングし、息を合わせて巻いて、巨大な巻き寿司を完成させる。

出来上がると、みんなから笑顔がこぼれ、「おいしい!」「こんなに長いのができた!」と嬉しさと達成感を味わうことができた。

2 その他(自然体験活動の実施における今年度のプロセス)※記入必須

・ 職員の資質向上について

保育ドキュメンテーションを作成、カンファレンスを毎月実施。

自然と触れ合う子ども達の様子を職員全員で振り返りながら、子ども一人ひとりが自然を楽しみ、 自然を通して学びを得る環境、援助について話し合い、資質向上に努めている。

- ・ 地域との関わりについて 地域の方から、種や土、虫などを提供していただいている(月数回) 地域の学生との交流をしながら SDG s を学んでいる(年1回)
- ・ 保護者との関わりについて 参観日等を活用し、保護者の方にも体験していただく機会を設けている(年2回) 日頃から、子どもたちの作品や掲示を見ていただいている
 - その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

かより計し、伯動をフロールしたい地飲は、ハーム・・フト BNB の BNB でこれが、たこい。	
	十日市保育所ブログ
URL	https://hoiku.shopro.co.jp/hoiku/news/tohkaichi/